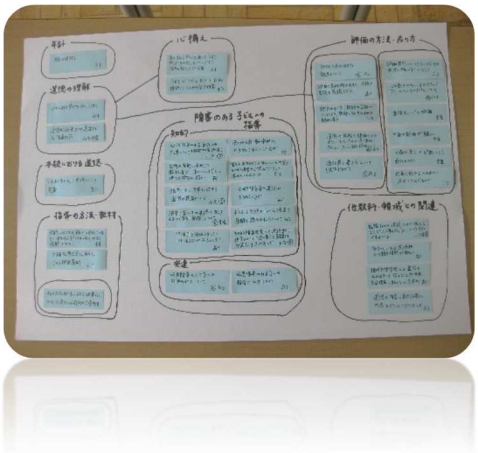
全校研究だより

第２号
令和２年８月２０日（木）
青森県立青森第二養護学校　研修部

第１回校内研修会（講師：毛内先生）の振り返りの演習から見えてきた わたしたちの課題意識とは？

先月、７月の研究日に行われた第１回校内研修会（講師：毛内先生）の振り返りの演習では、各グループで活発な意見交換がなされました。先生方に提出していただいたワークシートには、「個人の学び」「グループで共通する内容」「課題」等がたくさん・・・。今回は、その中で、本校の先生方の課題意識にせまり、今後の研究の方向性を考える参考にするため「課題」に焦点を当てました。まず、全学部１２グループから出された課題（「今後研究を進めていく上で課題となってくると思われる点」「毛内先生に質問したい事項」）を付箋に書き出し、KJ 法を用いて、カテゴリー分類を行いました。その結果、以下のようなカテゴリーが導き出されました。（全校研究係調べ）



No.	カテゴリー名	付箋の数
１	障害のある子供への指導について（知的障害・発達障害）	１２
２	評価の方法・在り方について	１１
３	他教科・領域との関連	４
４	指導の方法や教材について	３
５	道徳の理解	２
６	心構え	２
７	年計	１
８	本校における道徳	１

付箋の数が最も多かった「障害のある子供への指導について」「評価の方法・在り方について」は、全ての学部より出されていた課題であり、５月に行った事前アンケートでも最も多く課題として取り上げられていた事項です。このことから、本校の先生方は、知的障害のある児童生徒に対する具体的な指導法や取組、評価の方法・在り方について課題意識を持っており、それらのことが学びたいと考えていることの中心的な事項であることが明らかになってきました。

課題意識の解決に向けた今後の研究の取組は？

そこで、道徳の理解をさらに深め、年計の活用や指導の重点との関連を図りながら、わたしたちが感じている課題意識の解決を目指し、研究主題である「内面の育ちを促す授業改善」につなげていくために、今後、以下の取組を行っていこうと考えています。

○先進的な授業から学ぶ　→ ８月の研究日、授業の動画を活用して演習します！
○文献等から学ぶ　→ 先行研究等を研究だよりで紹介します！
○毛内先生の助言から学ぶ　→ 振り返りで出された疑問点に対して助言いただきます！
○自分たちの実践から学び合う　→ わたしたち自身の実践（と悩み）を「道徳授業 PDCA シート（仮題）」を作成することで見える化し、共有します！
（８月の研究日に概要等をお伝えする予定です）

研究係より

７月の研究日の記録からは、先生方一人一人が、毛内先生の講演での学びを共有し、学びを活かしながら、目の前の児童生徒に対して、道徳をどう指導し、評価していくのか、悩みながら実践を進めていることがうかがえました。毛内先生の講演等からインプットした学びを、本校の子どもたちの道徳性の諸様相の育ちに結実させるため、私たち自身が本校における道徳について、「考え、議論する」場、機会を大切にしていきましょう！